



# 浜小だより

5月号

令和8年4月30日

横浜市立浜小学校  
校長 丹波 悟亮

《学校教育目標》相手の考えや気持ちを大切にし、互いに高め合う浜の子

## 三方良し

校長 丹波 悟亮

「三方良し」とは、江戸時代から明治時代に活躍した近江商人の経営哲学である、「売り手も良し、買い手も良し、社会にとっても良し」の商売をするということです。

売り手だけが儲かり買い手が損する商売ではいけない。また、売り手と買い手だけが得する商売ではいけない。多くの人、社会全体にとってもいい商売をするという考え方です。

この考え方は、学校現場でも共通する部分が多いと感じます。自分だけでなく、相手のことを考えて行動することが大事です。さらに、2人だけが良くて、他の子を仲間外れにしているのは、みんなのためにはなりません。自分の思いだけでなく、相手のこと、みんなのことを考えて行動できることが、本校の学校教育目標「相手の考えや気持ちを大切にし、互いに高め合う浜の子」に通じています。

激動の時代。日本の政治・経済・教育も大きな転換期を迎えています。世界の国々も大きく変化しています。現在の日本は、国内の内発的動機、外的要因によって国の形を変えた江戸時代から明治時代への変化と似たような大きな変革の時代と言われる。

次の時代を担う浜小学校の子どもたちには、「三方良し」の考えが、生き方の指針となり、新しい時代を切り開いてほしいと願っています。